

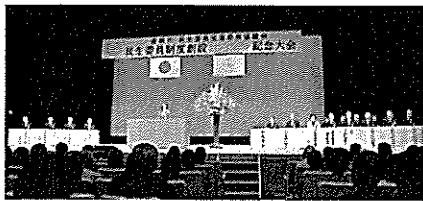
### 民生委員制度100周年に思う

大正6年当時の岡山県知事笠井信一氏が「濟世願制度」(地域の貧民の相談にのる防貧制度)を開始しました。

これが民生委員制度の始まりとなり100年の年が経過しました。そこで、100周年を記念して倉敷市民生委員児童委員協議会は、平成29年11月13日倉敷市民会館で記念大会を開催しました。委員等約1,500人が出席し、地域福祉の増進を誓いました。

創設当時は、県民の1割が貧困で苦しんでいましたが、その後日本の経済はめまぐるしく発展し、現在貧困家庭は少なくなりましたが、核家族化で独居とか高齢者だけの家庭が増えました。それに伴って民生委員の役割が増大して、現在では民生委員のなり手がいない地区が徐々に増えてきました。

我々の菅生地区は定員数は満たしていませんが、次期にはなり手がいない地区があるかも知れません。



菅生地区民生委員児童委員協議会 会長 水川 滯

### 平成28年度 事業報告書

- 1 総会 (5月22日) 理事会 (5月8日) 役員会 (8回)
- 2 年間事業
  - (1) 第23回菅生学区体育祭(11月6日) 学区民の心のふれあいと連帯感の深化
  - (2) 第17回コミュニティまつり(11月20日) 学区内の各種団体の活動紹介と健康チェック
  - (3) 学区小地域ケア会議(12回) 地域に即した高齢者等の支援体制の調整と推進
- 3 「菅生協だより」の発行(12月25日第6号) 市社会福祉協議会への協力(随時) 高齢者等への友愛訪問(随時) 65歳以上の独居高齢者等への声掛け、見守り
- 4 福祉協力委員制度の活動促進と連携
- 5 独居高齢者への弁当配布と食事会(10月26日・2月22日)
- 6 75歳以上の独居高齢者への弁当配布と食事会
- 7 菅生地区社会福祉協議会メニュー事業 歳末たすけあい活動(12月23日) お飾り作りとカレー会
- 8 福祉講演会の開催(10月8日) 福祉講演会元気で老後を生きるためには「住民同士の交流活動」
- 9 三世代いきいきウォーキング(9月25日) 住民同士の交流活動
- 10 三世代ベタング大会(11月23日) 菅生学区体育祭(11月6日) グラウンドゴルフ交歓大会(10月29日) 要支援者に対する見守り・支え合い活動(9月上中旬)
- 11 80歳以上の高齢者への声掛け、見守り等の訪問活動
- 12 その他

# 菅生社協だより

2017年12月25日発行

第7号

〔発行〕菅生地区社会福祉協議会

☑発行者 藤本幸子  
☑地区社協だより編集部

## 心のふれあいと連帯感を深めながら、 支え合う社会を目指して



### 一年の事業を振り返って



会長 藤本幸子

今期、平成29年度も残り少なくなりました。

私達地区社会福祉協議会では高齢者への声掛け、見守り、親子三世代のふれあいを大切にウォーキング、グラウンドゴルフ、ベタング大会を開催し、コミュニティまつりでは、保育園幼稚園、小学校にご協力を頂き「菅生学区の良いところ」と題してすばらしい絵を書いて頂き、さらに地区の皆さんには川柳を募り、独居高齢者には、お弁当の配布をいたしました。近年の高齢化も反映し、配る数も年々増えて大変ですが、地域の皆様、役員に頑張ってもらい、高齢者の方々に喜んで頂きました。

昨年末には、カレーとお飾り作りの会を開催し大勢の方々の参加があり、カレーをおいしく食べた後、お正月に向けて飾うと、経験者の指導を受けながら楽しく色んな形のお飾りを作り満足して頂きました。

小地域ケア会議では、今年初めて畑をお借りして野菜を作ることになりました。作った野菜で交流会をしたのですが、残念なお天気のため出来が悪く、みんなで持ち寄り豚汁で反省会をし「来年こそは!!」と決意を新たにしました。

倉敷地区では菅生学区が高齢者が一番多いと聞いていましたが、今年に加えて交通事故多発地区とも発表されました。日々気を付けてはいても防げないのが事故です。だからこそ充分に注意しながら運転をして欲しいものです。

これからも、皆様のご意見、ご協力をお願いしながら「住みやすい、笑顔絶やさない学区」を目指し、皆さんと頑張ってください。どうぞ、今後ともよろしくお願いたします。

なお、この「菅生協だより」の作成に当たり、たくさんの方々にご協力を頂きましたことに深くお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

### 人権擁護委員

あなたの街の相談パートナー



### 編集後記

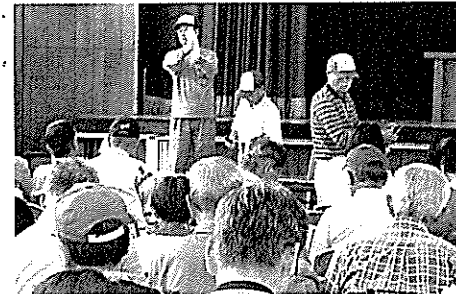
今年の秋の長雨は大変でした。土曜、日曜に台風が来て、稲刈りもままならず大幅に遅れて、農家の皆さんには大変ご心配とご苦労だったことと思います。菅生地区にも、次々と家が建ち並び、倉敷の北の玄関口と言われていますが、やはり、稲の穂を付けからすくすく育ち、そして刈り取る風景は菅生の良いところではないでしょうか。

毎日毎日、交通事故やあまり聞きたくないニュースが続いていますが、菅生学区は、倉敷地区でも交通事故多発地区になっているようです。皆さんハンドルを持って、歩いても充分気を付けましょう。

菅生地区社協も設立から7年、「菅生協だより」も7号の発行となりました。何か皆さんに喜ばれる楽しい行事や記事はないものかと思いい日が続いています。皆様方からのいいアイデアを首を長くしてお待ちしております。

平成29年度 福祉講演会

# 「地域の防災力を高めよう!!」



防災講演会と炊き出し訓練に約150名程が参加しました。

日頃私達が住む倉敷地区では、大きな災害もなく危機感がありません。しかしいつ災害が起

こるか分かりません。いざという時に備えて「自分たちのまちは自分たちで守る」ことが求められます。

阪神淡路大震災では、8割の人が地域の人に助けられたそうです。この様に災害に遭った時に自主防災組織が必要なのです(自助:7 共助:2 公助:1)。

色々な事例をもとに説明を聞き、皆さんが危機感を持つことも必要です。

最後に炊き出し訓練では、カレーライス、炊き込みご飯の試食をし会が終了しました。

この様な会を行って下さって、皆さんの防災意識が高まったことと思ひ感謝いたします。

山縣 暁

## 防災は「ちょい足し」から

防災研究機関「人と防災未来センター」では、非常時に備えるための減災グッズを、0次、1次、2次の3段階に分けて提唱しています。

- 0次 自宅や避難所など安全な場所に移動するために、常に携帯したいもの。
- 1次 非常時の持ち出し品。被災した1日を過ごすために必要なもの。
- 2次 ライフラインが途絶えても、救助が来るまでの数日間を過ごすために必要なもの。



このなかで、取り上げるのは「0次の備え」にリストアップされている次の21個。

### 0次の備え

- ・飲料水(500ml) ・携帯食(チョコレートやキャンディーなど) ・携帯電話(充電器やバッテリーも)
- ・連絡メモ・備えリスト ・運転免許証や健康保険証など(コピーも可) ・筆記用具(メモ帳とペン)
- ・現金(公衆電話が使えるように10円硬貨も) ・ティッシュペーパー ・ハンカチ(大判) / てぬぐい
- ・携帯ラジオ ・持病薬/常備薬 ・マスク ・使い捨てカイロ ・雨具 ・缶(ホイッスル) ・懐中電灯
- ・簡易トイレ ・救急用品セット(絆創膏や包帯など) ・安全ピン(タオルを留めて下着などに用途が多い)
- ・ポリ袋(買利物袋) ・風呂敷

こうして見るとたくさんあるように感じますが、実はいつもバッグに入っているものも多いと思いませんか。それがちょい足しで0次の備えができる理由です。普段自分が持っていて歩いてるバッグの中身を出して調べてみてください。ですが、やっぱり足りないものもあります。それが次の8個!

- ・ホイッスル ・携帯ラジオ ・救急用品セット ・簡易トイレ
- ・安全ピン ・ポリ袋(買利物袋大・中・小) ・雨具 ・風呂敷

いきなり全部を用意しようとするの大変ですが、このように代用・兼用しながら、いつものバッグにちょい足しするだけなら、今日にでも揃えられそうですよね。

## 第3回 菅生学区川柳大賞について

今回で第3回ということで川柳大賞も恒例行事になりつつありますが、今年のテーマは「菅生自慢」となりました。支え合える思いやりのある地域を作るには、まずは地域の良い所を知って愛着を持つことが大切ということでこのテーマとなりました。今年は50名の方から90句の作品を応募していただきました。

どの作品も菅生学区の良い所を存分に表現した素晴らしい作品ばかりだったので、応募多数となったため、小地域ケア協議委員により厳正な選考をおこない、最終選考10作品を選定しました。その最終選考10作品から最優秀賞を決めるために、11月26日(日)に菅生小学校校体育館で開催された菅生コミュニティまつりにおいて、「ご来場いただいた方に気に入った作品に投票していただきました。今年もたくさんの方に投票していただき、会場はとても盛り上がり

### 最優秀賞

学童の 笑顔の挨拶 すばらしい

都築 公子

### 優秀賞

倉敷の 北の玄関 菅生地区

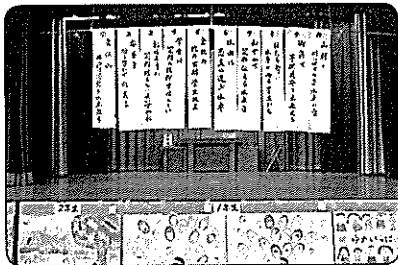
仙賀咲和枝

### 審査委員特別賞

街角で 子供見守り 未来見る

窪田マサ子

おはよう! 笑顔堪えない よいすがお  
和やかで 笑顔伝える 水車音  
ほたる舞い 水車が回る 菅生かな  
水田に 川直に運ぶ 水車(みずぐるま)  
山裾に 川のせせらぎ 水車の音  
安養寺 鐘を響かせ 桃実る  
青江山 井戸は湧れても 水車舞う



## 菅生学区で元気に暮らせるように

私の生まれたところに、こんな言葉があります。「おしめんせー」夕方、野良仕事やごご織をしている人に、すれ違いざまに声をかけるのです。「おばあさん、元気ですか。」など一言余分の声掛けが当たり前のように行きかっています。昔から住んでいらっしゃる方、最近引っ越しされてこられた方、お互いに声のかけ合いを通じて、今以上の元気な声の響き渡るふるさとなるのです。

特別養護老人ホーム浅原桃花園  
施設長 難波健男

倉敷中部高齢者支援センター 山崎 康永

ました。投票の後、投票結果の発表と表彰式を執り行い、小地域ケア協議の小川泰政委員より賞状と記念品が贈呈されました。表彰された方は皆さんとても喜んでくださいました。また菅生小学校・菅生幼稚園・わかば保育園・龍昌保育園の子供たちからは思い思いの表現で模造紙に菅生自慢をテーマに作品を作っていました。この作品を祭り当日に体育館に展示して、たくさんの方に見ていただくことができました。それぞれが工夫を凝らした作品だったので皆さん熱心に鑑賞してくださりました。「協力いただいた皆様、ありがとうございました。」

地域とごまにある学校をのぞいて

地域の皆様方には、いつも皆生子を温かく見守っていただきからお礼申し上げます。本校では本年度から、市教育委員会の研究指定を受け、「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」の試行を始めました。これは、地域と学校が目的やビジョンを共有し、力を合わせて学校運営を行い、地域とともにある学校づくりを目指す取組です。

- ふるさとを大切に思う人に育ってほしい。
○夢をもって育ち、社会の役に立つ人になってほしい。
○自分が大好き、人が大好きな人に育ってほしい。
○他人の痛みを分かちあう人に育ってほしい。
○失敗しても立ち直れる粘り強い人に育ってほしい。

今後は、これに向けて具体的にどんな取組ができるかを話し合っていく予定です。子どもたちには、地域の方々のこうした温かいお気持ちと期待を伝え、地域の行事等で活躍できる所はしっかりと頑張るよう呼びかけています。

このように、まずはしっかりと話し合い、目指すべき目的を共有しながら学校・家庭・地域が連携・協働し、地域とともにある学校づくりを進めてまいります。子どもを核としたオール皆生のこうした取組が、ふるさとを大切に思い、心豊かでたくましい皆生子の育成につながることを期待しています。引き続き、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。
菅生小学校 校長 千葉 照久

平成29年度 事業計画書

- 1 総会 理事会 役員会
2 年間事業
(1) 第24回皆生学区体育祭
学区民の心ふれあいと連帯感の深化
第18回コミュニティまつり
学区内の各種団体の活動紹介と健康チェック
学区小地域ケア一会議
地域に即した高齢者等の支援体制の調整と推進
「菅生社協だより」の発行(第7号)
市社会福祉協議会への協力
高齢者友愛訪問
65歳以上の独居高齢者等への声掛け、見守り
福祉協力委員の活動促進と連携
独居高齢者への弁当配布と食事会
75歳以上の独居高齢者への弁当配布と食事会
3 菅生地区社会福祉協議会メニュー事業
歳末たすけあい活動
食事会とお飾り作り
75歳以上の独居高齢者への弁当配布と食事会
福祉講演会、ボランティア講座等の開催
住民同士の交流活動
三世代いきいきウォーキング
三世代ベタング大会
住民同士の交流活動
皆生学区体育祭
グラウンドゴルフ交歓大会
(5) 要支援者に対する見守り・支え合い活動
80歳以上の高齢者への声掛け、見守り等の訪問活動
4 その他

交通安全活動について

地域の皆様には日頃から、交通安全活動にご理解、お力添えを頂き感謝申し上げます。交通安全母の会では、多くの皆様にご協力を頂きながら、老人会・小学校・幼稚園もたろうクラブ・コミュニティまつり等での交通安全教室開催、登下校時の見守り活動や近隣商業店舗での啓発活動を通して、特に高齢者と子どもの事故防止を呼びかけています。

高齢者の皆さんには、年齢とともに変化するご自身の身体機能をよく知り、無理のない歩行、運転を心がけて頂き、また子ども達には、日常生活において安全に道路を通行するため必要な「止まる・見る・待つ」といった基本的な行動を習慣づけるよう声かけをしています。子どもは身近な大人の行動を見て色々なことを学んでいます。まず私達人が交通ルールを正しく理解し、安全な行動を実践することが大切です。
交通安全は、被害者だけでなく、加害者になっても苦しく悲しい時間を過ごすこととなります。いつもの通り慣れた身近な道路に潜む事故の危険性や悲惨さ、命の尊さを訴え、全ての人が交通安全の一員であるという自覚と責任を持ち、安全に暮らして頂けるよう啓発活動を続けています。
来年、岡山県交通安全母の会は、設立50周年を迎えます。
私達は、これからも「交通安全は家庭から」を合い言葉に、微力ながら交通安全活動に努めて参りたいと思います。
菅生学区交通安全母の会会長 西田由美子

平成29年度 収支予算書

Table with 2 columns: (支出) and (収入). Each column has sub-headers for '科目' (Item) and '予算額' (Budget Amount), followed by a '摘要' (Summary) column. The total budget for both is 619,368.

お飾り作りとカレーの会

昨年度、メニュー事業の一つである歳末助け合い活動のお飾り作りとカレーの会が開催されました。平成28年12月23日菅生小学校体育館にて、25名の大勢の方々に参加をいただき、まずは、カレーを皆でいただきました。子どももおいしーと2杯り3杯とおかわりするおじいちゃん、おばあちゃんもたくさんおかわりして、お父さんお母さんたちも高年齢者の方々と、背を向って、会場いっぱい作り始めました。背を向って、いっぺい編み、「ここはどうするの?」とか、「できたよ!」とか、皆がそれぞれ目を輝かしながら見せてくれました。

お飾りは、めがね飾り・三つ組み飾り・リース飾りとそれぞれが嬉しそうでした。これからも、自分で作る楽しみ、また、新しい新年を家族皆で過ごしていきましょう。
青少年を育てる会支部長 光畑久美子



菅生地区社会福祉協議会役員名簿

- 会長 藤本 幸子 愛育委員会会長
副会長 江國 耕輔 コミュニティ協議会会長
小山紀美子 前民生・児童委員協議会会長
山内 宣夫 菅生地区保健司
水川 滯 民生・児童委員協議会会長
原 具原 連雄 前民生・児童委員協議会副会長
村上 恵子 コミュニティ女性部 花社会
計 光知久美子 青少年を育てる会菅生支部長
理事 赤場 重美 元下西坂公民館会長
山縣 暁 青江宮前町内会長
西村 良一 西岡会館長
木曾 福一 老人会連合会会長
西田由美子 交通安全母の会会長
津島 敏雄 交通安全対策協議会会長
大村 庸子 民生・児童委員協議会副会長
中村健太郎 北中学校PTA会長
小池 秀典 菅生小学校PTA会長
守屋 佳典 菅生幼稚園PTA会長
森岡 耀行 浅原六組合町内会長
石原 仗一 下西坂公民館会長
(平成29年5月22日現在)



・コミュニティまつり・

今日の血圧の値はドンかたっ

健康相談

栄養改善協議会の人たちが作った試食

私のほしい物あるかな?

体操で高こい解消?

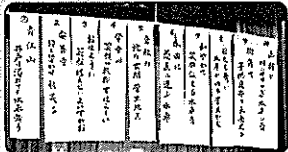
バルーンアート人気です

美味しいうどん

輪投げ上手に投げられたよ

・管生の良い所・

川柳と園児・児童の絵



平成 29年

こんな一年でした

・三世代ウォーキング・



・体育祭・



東雲保育園 鼓笛隊

ガンバッテいます

負けるナ!



・総会・



嬉しい 疲れたナ

・お飾りとカレーの会・

何回もおかわりしたよ

お腹いっぱい!



・ベタンク大会・



男の子も女の子もたくさんいてよく頑張っていました



・グラウンドゴルフ大会・



・福祉講演会・

(防災について)

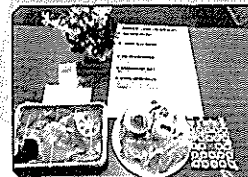
みんな真剣に聞いていました



(炊き出しご飯)

・独居高齢者食事会・

おすし大好き!



・福祉施設訪問・

(もちつき大会)

おいしいあんこ入り



たくさん食べてネ

熱くて切れないよ~!